

## ゆとりある人は慕われる

「できる人」と「できた人」の違いとは

職場の中で、よく見ていると、いつも人から慕<sup>した</sup>われる人と、なんとなく人の寄りつかない人がいます。

慕われる人というのは、その人と話をするとか何が得られる、心が洗われるようです。きりする、勇気づけられる、だからまた話をしたくなる、相談にものってほしい……。このように周りの人たちに思わせる人だと思えます。

こういう雰囲気をもった人になるには、忙しくても自分を見失わず、心のゆとり、落ち着きがなくてはならないのではないのでしょうか。

一方、周りの人たちが話しかけても、相手になろうとせず、周りにイライラをばらまくような人は、視野も狭く話題に乏しいので教えられるものがない、おもしろくないということ、人から敬遠されてしまいます。

ノートルダム清心学園理事長を務めた渡辺和子さんは、著書『美しい人に』（PHP研究

所)の中で「ほんとうに忙しい人と話しているのに、その人が、私以外に用事がないかのよう」に耳を傾けてくださったり、話をしてくださるとき、心にほのぼのとあたたかいものを感じます」と語っています。

よく人を評して「彼はできる人だ」などと言いますが、心のゆとりがある人は、できる人より「できた人」だと言えるでしょう。職場では、もちろん仕事もできて人柄もよいのが一番ですが、仕事の「できる人」の中には、ややもすると上から目線になりやすく、仕事や人間関係がうまくいかない場合が少なくありません。

仕事さえできればよいというのではなく、常に周りの人に思いやりの心で接していく、相手の立場に立って考える謙虚さを失わない、こうしたゆとりをもつことが、いつも人から慕われる「できた人」になるための大切な条件の一つと言えるでしょう。